

2024年9月11日

## 薬剤の紛失について

大阪公立大学医学部附属病院  
病院長 中村 博亮

2024年9月9日（月）夜間、手術時に希釈して使用した薬剤「レミフェンタニル静注用2mg」（第一三共※）について、使用後にシリンジ内に残った0.6mg相当を紛失したことが判明いたしました。紛失場所は入室者が制限される手術室であること、映像録画等を含めた厳正な管理体制のもと薬剤の記録・管理を行っていることから、ヒューマンエラーによるシリンジ並びに残薬剤の誤廃棄を想定し、経緯確認に努めておりますが、現状発見には至っておりません。

当院は今回の事態を重く受け止めており、より厳格な管理を行うこととし、二度とこのような事態にならぬよう、再発防止に向けて職員一丸となって最善の努力を積み重ねていく所存でございます。

なお、本件につきましては、麻薬及び向精神薬取締法第35条に基づいて、大阪府健康医療部生活衛生室薬務課に報告しております。

※レミフェンタニル静注用は鎮痛作用などに関与するオピオイド受容体に作用することで強い鎮痛作用を表す薬剤で、効能効果は全身麻酔の導入及び維持における鎮痛です。

【この件に関する問い合わせ先】  
大阪公立大学医学部附属病院  
TEL：06-6645-2121（代表）

（午前9時～午後5時 土・日・祝日を除く）

※担当部署にお繋ぎいたしますので「2024年9月の薬剤紛失事案について」とお伝えください